

平成22年度 甲佐町 「人権週間」 町民集会



- 町民集会であいさつをする上妻実行委員長（右中）。●人権講演会で自身の半生について講演する淵上さん（右上）。
- 町民集会のオープニングを飾るなごみ太鼓の勇壮な演奏（右下）。●町内各小・中学校を代表して人権作文を発表する児童・生徒たち（左）。
- 人権啓発の寸劇を公演する人権擁護委員（左下）



人権に関する意識の高揚 と啓発を図る「人権週間」

12月4日（土）町生涯学習センター・ホールで、第28回甲佐町「人権週間」町民集会が開催されました。

同集会は、12月4日（土）から10日（金）にかけて実施された、平成22年度甲佐町「人権週間」の一環として開催。同実行委員会（上妻毅委員長）、町、町教育委員会が主催。

約150人が参加し、人権に関する理解を深めて意識をさらに高めました。同週間は、同問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、憲法で保障する基本的な人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、町老人憩いの家での特設人権（心配事）相談の開設や、街頭での人権啓発の広報活動、町内企業などを訪問しての職場での人権啓発の呼び掛けなど、さまざまな活動を展開。また、同センター・ギャラリーリーモールなどでは、児童などの書道や絵画など人権作品の展示も行われました。

町民参加による人権啓発 活動である町民集会開催

同集会は、オープニングのなごみ太鼓の勇壮な子どもたち演奏で開幕。開会式では、上妻実行委員長が「豊かな住みよい町づくりの柱として、人権啓発は重要です。本町に差



別がなくなるよう、少しでも貢献できれば」とあいさつしました。

続いて開催された人権講演会では、嘉島町の淵上昭六さんが講演。同和地区で生まれ育った自分の半生について語り、「どういう境遇でも、自分がどう生きるのかということが大事。今は、自分自身に正直に生きられることがうれしい」と話しました。

体験活動発表では、県立甲佐高等学校で取り組んだ活動について、同高校生徒会執行委員の園田恵也くん（2年）が「感謝の三行詩」と題して発表しました。

人権作文発表では、町内の小・中学校の児童・生徒が発表。各小学校の代表として、仲原結奈さん（乙女小5年・船津区）、甲斐萌子さん（甲佐小6年・仁田子区）、村歩乃花さん（龍野小6年・下横田区）、本田奈菜子さん（白旗小5年・古閑区）が作文発表。甲佐中からは各学年を代表して、西山結衣さん（1年・芝原区）、田上主税くん（2年・南三箇区）、狩野広大くん（3年・中横田区）が発表しました。

人権擁護委員による人権啓発の寸劇も披露され、最後に、同集会決議を全会一致で採択し、参加者を代表して伊豆野加奈子さん（岩下一区）が決議を宣言しました。

集会終了後は、参加者による人権パレードを実施。広く人権啓発を呼び掛けながら、市街地を練り歩きました。